

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 大井 里美

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、令和4年2月現在全国の約100団体によって構成されています。長いコロナ禍の中、自然体験活動を行っている方々は思うように川での活動をする事ができません。このような状況下で密を避けてキャンプ体験が増えています。以前からのお願いですが、水辺でのキャンプについては必ずライフジャケットを着て遊んで欲しいものです。また、東京都の運河で地域の企業の方々が「流域防災」の考え方も含め水害救助にも使われているEボートでレース大会が開催されました。今回もその活動報告についてご紹介致します。

【流域力向上防災フォーラム】

昨年の12月1日に江東区東陽町で防災フォーラムが開催されました。水害で救助に使われているEボートの説明や活用についてお話をさせていただきました。地域の企業が江東エリアの町内会の方々と一緒に水辺利用と地域防災の取組を行っています。3日は汐浜運河で第1回企業対抗の「防災Eボートレース汐浜運河カップ」が開催されました。レースとなると皆さん熱くなり、参加者の方々は夢中でびしょびしょになりながら漕いでいました。今回のEボートレース大会は今後継続される予定です。東京の他の運河でもこのような取組みができることを期待しています。



【信濃川下流河川事務所事業

RACリスクマネジメント講座 in やすらぎ堤】

昨年の夏、コロナ禍の中、信濃川のやすらぎ堤でリスクマネジメント講座を行いました。座学は密を避けて河川敷のテントサイトでの開催でした。屋外なのでとても気持ちよくなるのびのびと講座を開

催する事が出来ました。このような河川敷のテントサイトでの講座はお薦めかもしれません。今後も通常の安全対策ももちろんのことコロナ感染にも十分に注意をして、体験活動を開催して行かなければなりません。感染に対しては新たな知見を基にいろいろなアイデアで対応して行かなければと思います。



【揖斐川での川の体験活動】

昨年の11月には、岐阜県揖斐川でのEボート体験活動を行いました。対象は河川管理者向けです。乗船前に川の安全についての説明を行い、地域の運河や揖斐川本川での体験活動を行いました。運河では将来的には地域の人たちが気軽にEボート体験ができるように、また、他のイベントと一緒にできることを模索しています。

これらの活動を通じ、川のリスクと危険回避の方法が普及され、川での体験活動の機会が増え、川と人が共存できる「川に学ぶ社会」へ近づくことが出来れば幸いです。



《NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都北区田端 1-11-1 勘五郎ビル 104

TEL:03-5832-9841 FAX:03-6893-2642

<http://www.rac.gr.jp/>